

小形超遠心機を使用した電顕試料の簡便調製法

CS-FNX シリーズおよび CS150NX 形小形超遠心機 / S100AT3 アングルロータ

非細菌性急性胃腸炎を引き起こすウイルスの一種であるノロウイルスの透過型電子顕微鏡での検出のための試料作成には超遠心機が用いられます。ノロウイルスは約 7,500 塩基の一本鎖 RNA ウィルスでエンベロープを持たないウイルスです。またウイルス粒子は直径 30-38nm の正二十面体であることが知られています。このノロウイルスは適切な加熱、次亜塩素酸塩などで不活化されますが、エンベロープを持たないためエタノールでは不活化されません。

ここではノロウイルスの場合をその一例として、僅か 100 μ L 程度のウイルス懸濁液でも簡便に扱えるアダプターを紹介します。

内 容

遠心機：小形超遠心機（CS-FNX シリーズ, CS150NX）

ロータ：S100AT3 アングルロータ（0.23 ml x 20 本）

回転速度：60,000 rpm（最大遠心加速度：157,000 xg）

遠心時間：30 分

温度：4°C

加速モード：7（ややゆっくり加速）、減速モード：7（ややゆっくり減速）

遠心管：0.23 PC チューブ

試料量：100~150 μ L

アダプター：

名称：0.23 用アダプター（特別注文品）

材質：ポリアセタール（ポリオキシメチレン）樹脂

透過型電子顕微鏡用銅製グリッドメッシュ：（直径）4mm（日新 EM（株））



小形超遠心機には床置き CS-FNX シリーズとテーブル置き CS150NX があり、いずれにも適用可能です。また、旧機種である CS-GXII シリーズ、CS-GXL シリーズ、そして CS-GX シリーズにも適用できます。

透過型電子顕微鏡でのノロウイルス（SRSV）の観察例



装置



CS150FNX



S100AT3 アングルロータ



CS150NX

本資料に関するお問い合わせは日立工機(株)のホームページ
(<http://www.hitachi-koki.co.jp/contact/>) からお願い致します。

【製造・販売・保守】

 日立工機株式会社

URL <http://www.hitachi-koki.co.jp/himac/>

首都圏地区（甲信越を含む）	〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1（品川インターシティ A 棟）	03-5783-0614
北海道地区	〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央三條 1-2-20	011-896-1748
東北地区	〒984-0002 仙台市若林区卸町東 3-3-36	022-288-0435
中部地区	〒451-0051 名古屋市西区則武新町 1-32-16	052-533-0522
関西地区（中国・四国・京都を含む）	〒663-8243 西宮市津門大筒町 10-20	0798-23-4125
九州地区	〒813-0062 福岡市東区松島 4-8-5	092-622-4025